



よみ たん そん
 日本一人口の多い村 **読谷村**
 人口42,018人 (令和5年3月末)

93号 2023年3月
 定例会

議会だより

★議会に一言★
 今道路工事をしている所
 がたくさんあるので、早くこ
 工事が終われば交通手段が
 整い交通が便利になって
 ほしいです。



こ ぼし かわ ま
 題字：小橋川 愛心
 (喜名小学校5年生)

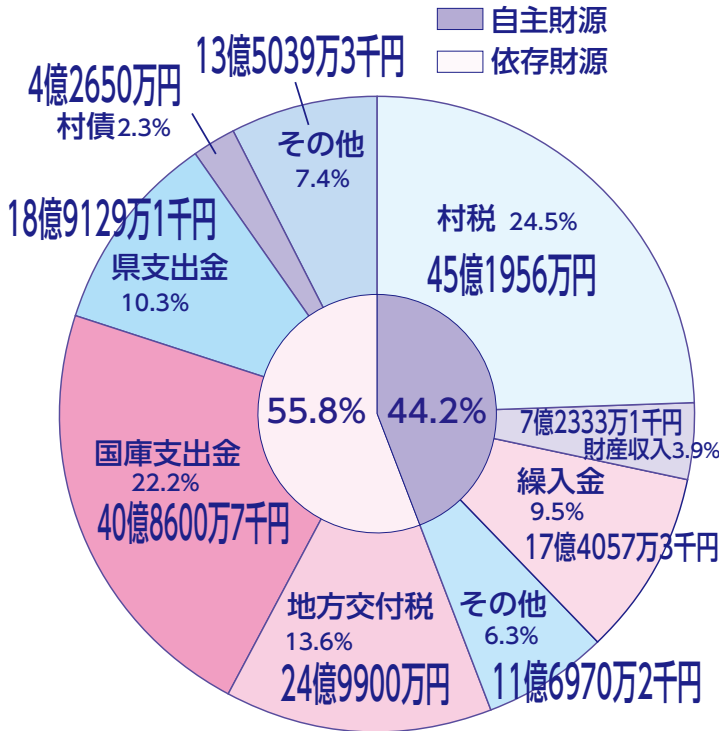


主な内容

- ◎令和5年度予算p2
- ◎予算のここに注目p4
- ◎一般質問p6

私たちの税金！

歳入



令和5年度一般会計予算が3月定例会において認定されました。

一般会計の歳入歳出予算の総額は184億635万7千円で対前年度比16億5166万1千円(9.9%)の増。自主財源は対前年度比3億195万1千円(3.8%)の増。また依存財源は対前年度比13億4971万円(15.2%)増。

※自主財源

村が自主的に収納することができる財源で村民税・固定資産税など

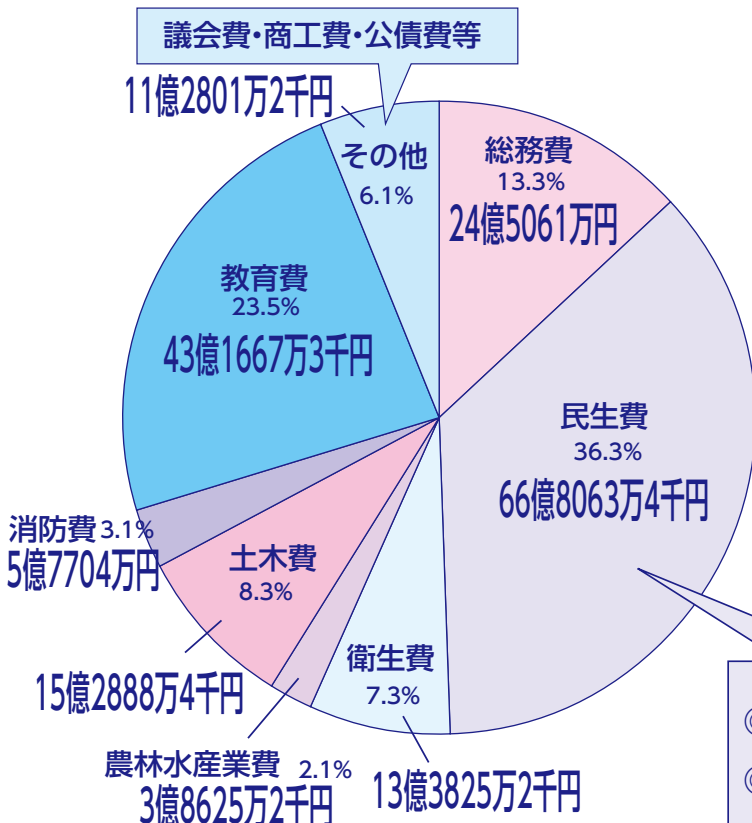
※自主財源における「その他」とは分担金及び負担金・使用料及び手数料・寄付金・繰越金・諸収入

※依存財源

国・県からの補助金や交付金など

※依存財源における「その他」とは地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金、地方消費税交付金、施設等所在市町村調整交付金など

歳出



◎社会福祉費

◎児童福祉費

- ・国民年金
- ・老人福祉
- ・障がい者福祉
- ・保育園運営

このように使われます

各委員会の審査事項

総務常任 委員会より

- ◎一般会計予算歳入全般及び歳出分割
審査分
- ◎防災マップ更新作成委託

建設常任 委員会より

- ◎歳出分割審査及び特別会計付託分
- ◎地域通貨よみペイ委託
(新年度は一般財源で実施)
- ◎特別会計の上下水道会計(公営会計)

文教常任 委員会より

- ◎歳出分割審査及び特別会計付託分
- ◎高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画
策定業務委託料
- ◎特別会計の国民健康保険・後期高齢者医療

特別会計予算

国民健康保険特別会計	52億8,235万3千円 (2.5%増)
後期高齢者医療特別会計	4億9,853万5千円 (6.7%増)
下水道事業会計支出予算(公会計)	9億7,941万4千円 (41.6%増)
水道事業会計支出予算(公会計)	12億7,957万5千円 (9.1%増)
合計	80億3,987万7千円

ここに注目

総務常任委員会付託審査

- ・コミュニティバス運営事業3,929万1千円、村民ニーズ調査委託料
- ・公共施設等総合管理計画委託料539万円、長寿命化調査
- ・ふるさとづくり基金積立事業5億5千万円前年比1億2千万円増
- ・五感で楽しむ読谷想い物語推進事業276万7千円、ふるさとづくり寄附金の推進を目指す
- ・防災マップ作成委託料651万2千円、防災マップの更新
- ・証明書交付手数料、1件あたり10円とし2年間マイナンバー取得を推進する為差額補填
- ・ふるさとづくり寄附金から、1億円は子ども未来基金積立、7,697万1千円は泊城公園整備
- ・会計年度任用職員期末手当1.65倍に引き上げられ約6千万円増



建設経済常任委員会付託審査

- ・循環型農業推進補助金530万4千円、牛糞を発酵させる施設設置補助金
- ・長浜ダム維持管理補助金4,048万円は施設維持管理業務と燃料費増額分
- ・地域通貨よみпей委託料2,775万6千円、一般財源で実施
- ・世界遺産周辺整備事業、街路灯修繕費7,689万円
- ・スポーツコンベンション誘致促進委託料3,766万円、県外6カ所派遣費
- ・公園維持管理事業本工事費7,908万4千円、観音堂公園工事、泊城公園整備等
- ・読谷補助飛行場跡地「北地区」整備事業1億1,139万4千円、道路整備工事及び用地購入費



観音堂公園工事



泊城公園整備事業

文教厚生常任委員会付託審査

- ・ 高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画策定事業委託料439万7千円
- ・ 児童福祉事務運営事業は保育士就労促進と処遇改善支援金2,036万円
- ・ 成人保健事業の歯科検診委託料192万5千円
- ・ 母子保健事業は産婦健康審査と産後ケア事業に産前産後相談委託料、1,273万9千円
- ・ 教育振興基本計画策定委託料は令和6年度からスタートする次期基本計画策定委託料784万3千円
- ・ 特別支援教育支援員配置事業の報酬1,951万7千円増額
- ・ 古堅小学校校舎新增改築事業1,375万9千円は耐力調査委託料
- ・ ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業1億8,511万円
- ・ 屋内運動場整備事業1億3,968万4千円、実施設計委託料



産後ケアが拡充します



ユンタンザミュージアム南側駐車場整備



スポーツキャンプ地域、通学路の交通環境整備を!



なかま あさお
仲真 朝雄

スポーツキャンプ等で高まる観光地としての評価。ともに増加する交通量。危険地点の指摘のある次の場所の見解を求める。

問 都屋漁港近くの信号機の無い交差点。停止線も認識しづらい。

答 標識はあるが交差点の優先が分かりづらい状況。安全策を検討する。

問 楚辺トリステーション前急坂。通学路があり雨天時スリップしやすく危険。

答 運転者へ注意喚起する看板設置を検討する。

問 先進農業支援センター北門前信号機の無い三叉路。停止線、標識、中央線とも無い。

答 現在のところ一時停止規制されていない交差点。停止線、標識の設置は警察と協議。中央線は幅員が 5.5m 以上あるので予算確保し実施する。

近年、葬送の自由が求められるようになった。

問 海洋散骨とは何か。読谷村でも実施可能か

答 粉にした遺骨を海にまく祭礼行為。法的には実施可能。村としては観光や漁業への影響があると考え推奨はできない。

問 条例で規制する必要は

答 節度を守れない状況になれば規制が必要。

提言 先行事例を参考に研究を望む。

大湾大橋開通の効果は

答 一定の効果があり、大湾交差点、比謝交差点の渋滞緩和が図られている。

小中学校の防犯

答 各校に防犯カメラ、立ち入り禁止看板設置。さすまた装備。年一度の防犯訓練等。

提言 防犯上の機微に関わるので、公開していない対策も施されているとのこと。防犯システムの更新はじめ安全安心の学校環境を維持してほしい。



西部土地改良地区(高志保)公園



くによし まさかず
國吉 雅和

新型コロナウイルス感染症対策について

答 60 歳以上の 5 回目接種率は、村 38%、県 41%、国 62%です。令和 5 年 5 月 8 日より、5 類感染症に位置付けマスク着用については 3 月 13 日以降、個人の判断に委ねる。

介護の将来を 2020 年と 2045 年で観る

問 高齢者を支えていく働き手(15 歳～64 歳)を 2020 年と 2045 年で全国と読谷村で求める。

答 全国は 4 人で 1 人から 2.45 人で 1 人を支える。読谷村は 6 人で 1 人から 3 人で 1 人の高齢者を支える。令和 4 年 10 月現在、村の後期高齢者医療保険の被保険者は 4,165 人で 697 人は自己負担 2 割です。

放課後児童クラブ(学童)について

答 公設民営学童は 5 施設で 213 名が利用し、南学童は待機 34 名、喜名学童は待機 21 名、読谷学童は待機 38 名、渡慶次学童は待機 6 名、古堅学童は 4 月 1 日より開所で待機は 0 名。民設民営学童クラブは 4 施設で 135 名が利用し、待機児童はいません。

問 沖縄県の学童平均利用率と読谷村の利用率及び今後の施策を求める。

答 県 24.2%、村 9.7%、西原町 23.6%、南風原町 28.5%です。村の学童利用希望率は 32.8%なので、各小学校区ごとに 5 施設必要です。

読谷西部土地改良地区の白地変更について

答 3 月末に「第一種低層住居専用地域」指定です。指定されると良好な住居の環境を保護するために、建築物の高さは 10m 以下、建ぺい率 50%、容積率 100%の地域になります。

波平ビーチ沿いの環境保全地域にグランピング宿泊施設実現を求めることについて

答 平成 24 年度の陳情と同じ場所です。

問 宿泊施設実現への課題を求める。

答 農業振興地域の防風林帯や道路附属施設である浸透池に囲まれている。





北谷町馬場公園の遊具

ながはま むねのり
長濱 宗則

交通安全対策から

問 伊良皆 356 - 5 番地から伊良皆 358 番地は古中、読高への通学路で登校時間帯交通量が多く、安全が危惧される。登校時間帯を一方通行、スピードの緩和措置としてハンプ設置できないか

答 地域住民の同意が必要である。

めざせ健康ゆんたんだから

問 読谷村の特定健診率を問う

答 コロナ禍で受診控え、集団健診の中止、各会場の人数制限等で減少した。

問 今後の受診率目標と対策の考えは、

答 目標を60%、専門職による未受診者への電話、個別訪問、健康サポーターによる個別訪問又、個別ハガキによる通知等、受診奨励を継続して行く

窓口業務の民間委託について

問 より質の高いサービスを提供するため窓口業務を民間委託に村の考えは

答 安定的な人員の確保、窓口業務の負担軽減、専門職への注力、待ち時間短縮として認識しているが、本格的に検討したことがない。

問 県内で窓口の民間委託自治体は

答 那覇市、宜野湾市、浦添市、沖縄市、うるま市、石垣市、豊見城市、南城市、北谷町

大木南土地区画整理事業から

問 大木、大湾の字界と通学区域の考えを問う

答 現字界を基本として換地計画に基づく道路境界で考えている。通学区域は村道比謝横断線を境として北側を古堅小学校、南側を古堅南小学校

泊城公園に大型遊具の設置について

問 予算規模と遊具の種類、インクルーシブの遊具の配置の考えは

答 予算規模7千万円、種類、インクルーシブ設地については実績計画で検討する。

読谷型観光振興の取組みから

問 読谷型観光の推進と観光協会への支援は

答 観光協会は重要な役割を担っており、中心的団体として支援し読谷型観光を推進する

読谷村の雑排水処理は、
合併処理浄化槽の普及でひが ゆきお
比嘉 幸雄

読谷村雑排水処理について

問 流域処理区が喜名地域に拡大しない理由

答 国の要項で制限があり地域拡大できない

問 合併処理浄化汲取を普及すれば、下水道本来の目的である川・海の水環境を守れるか

答 合併処理浄化槽は単独処理浄化槽に比べ、4.5倍の処理能力がある

問 村内では汲取式、単独、合併処理浄化槽の割合は

答 次年度調査の予定である

問 浄化槽整備促進に向けた対策として、「共同浄化槽・市町村直営方式・指定工事店方式・民間委託方式・PFI方式」がある。普及促進の課題は

答 補助金を増額して、普及促進を図っているが周知が課題である

第517回定例会において国民保護協議会条例、対策本部条例は可決された。

問 国民保護計画策定の進捗状況は

答 素案を策定し、県との事前協議終了後、村長から協議会に諮問しその案に対する意見を聴取した。協議会で修正案が承認され、答申を頂いた。3月2日～9日に策定に関する村民意見を募集した。県との正式な協議終了後に読谷村国民保護計画が策定される。

村長施政方針より、ふるさとづくり寄付金は年々増加傾向にあり本村の貴重な財源となっている。

問 ふるさとづくり寄付金額は

答 令和元年、1億7千8百万円。令和2年、2億6千5百万円。令和3年、5億3百万円。令和4年度、6億1千5百万円(予定)

問 ふるさと寄付金の活用状況は

答 保育所の遊具、学校の楽器購入、子供子育て事業は16事業、自然環境事業、文化創造事業3事業

問 令和5年度、更に寄付金を伸ばす施策は

答 新規事業として「五感で楽しむ読谷想い物語事業」を実施する。



座喜味公民館前の錆びた街灯

おおしろ ともき
大城 友誼

問 読谷飛行場接收から80年を迎える。時代の記憶が薄れる中、戦後80年、読谷飛行場返還闘争誌発刊に向けて記念誌編集委員会を発足出来ないか伺う。

答 現段階では考えてないが、新しい情報センターで資料収集に向けて、飛行場返還に関わって来られた方々から当時の状況を聞き取る作業については、着実に進め記録として残しておきたい。

問 不法占拠者のその後の対応について伺う。

答 令和5年3月31日までに耕作を中止し、残存物を撤去するよう依頼している。

問 喜名番所前と座喜味公民館前の街灯の景観について村民から指摘がある。喜名区や座喜味区民の思いに応じて以前の喜名焼を思い起こす陶板の景観を取り戻してもらいたい。

答 新年度予算で早めに取り組む。

問 村民センター線の道路景観について、村民から黒木を植栽したらと意見がある。黒木が赤犬子の歌三線と結び付いて、ストーリーがあればと思う。

答 村民センター地区の整備状況をみながら、黒木も含め樹種の選定を行っていききたい。

問 沖縄戦の戦禍を生きのび、読谷村の復興を成し遂げ平和な村にきずき上げた方々、復帰後の読谷村をきずき上げた団塊の世代、今後益々老人福祉が重要になってくる。読老連の現状と課題、今後の村の支援について伺う。

答 高齢者の働き方の変化などから、新規会員の減少や単位クラブの休会があり、役員の負担軽減が課題である。読老連や単位クラブの活動は、健康長寿や生きがいに非常に重要であると認識している。今後も、老人クラブ活動の活性化に向けて支援していく。

問 行政改革について、総務省が推奨するRPAの導入状況は。

答 本村では、業務効率化を図るツールとして関係6課20件の業務で活用している。



憲法9条の碑

いさ しんぶ
伊佐 眞武

平和行政について

問 政府が進める南西諸島へのミサイル配備計画について、見解を伺う。平和を維持するため自治体として出来る施策は

答 敵基地攻撃能力の保有など軍事化が進められつつある。米中の偶発的な衝突が起きれば南西諸島が標的となり、沖縄が再び住民を巻き込んだ戦場となるのではないかと大変危惧するものである。安全保障に関わる事案について地方自治体が直接関わることは非常に難しいが、県が設置する「地域外交室」に期待し、積極的に協力・連携していきたい。

問 戦後日本の平和は、憲法が決定的に重要だった。憲法に関する講演会を企画しては

答 改めて憲法を見つめ直す機会だと思う。より村民に理解しやすい形の取り組みを検討したい。

福祉行政について

問 読谷村障がい者控除対象者認定事務取扱要領が平成19年に公布されているが、ここ3年間の認定者数は。

答 対象者は65歳以上で、要介護認定者やそれに準ずる方が所得税や住民税の軽減を受ける対象者であることを認定する証明書です。令和元年が159名、令和2年度143名、令和3年度138名。

問 申請主義とはいえ対象者は実績よりもっと多いと予想される事から、より周知を図るべきでは。

答 確定申告前の2月に広報で周知しているが、FM読谷でも検討したい。

子育て支援について

問 泊城公園に大型遊具の設置計画があるが予算額と種類は。

答 令和5年度の当初予算は7千万円の概算工事費。種類は複合遊具を予定している。

問 遊具の安全性についてはどの様に確保されるのか。

答 国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基く。





信号機設置の要望がある
ファミリーマート古堅店前の交差点



えだ もりちか
江田 守恭

自治会の現状について

問 読谷村にある 24 自治会は地域行政、村政の最先端であるか

答 末端行政と言われることが多いが 1 番住民に近い所が最先端であり自治会がまさにそのとおりである。

問 自治会の意義、何を求めているか

答 先端行政であり、各種団体を含め村づくりを根幹で支えており、そこをサポートする事で村づくりも発展すると考えている。人々の繋がりがや伝統行事等を次世代へ継承しながら村の礎になってもらう団体。

問 地域振興交付金の執行残が出る理由は

答 自主防災会、地縁団体、ゴミ減量化の取組等の加算項目があるが組織化や活動がなされていないため執行に至っていない。

問 地域振興交付金は自治会員を増やすとプラス査定になるが、他も同じように増やした場合金額は増えない仕組みである。予算自体を増やさないと小規模自治会はより厳しい状況になるのでは

答 村全体で加入、世帯、人口等々が増えることで必要経費がかかることに繋がる。そうなった場合には増額を検討する。

問 自治会加入率の低下や老人会、婦人会等の各種団体の休会についてどう捉えているか

答 役員の成り手不足が主な要因と思われるので、加入促進の取り組みを検討していく。

(提言) 各種団体の休会等は自治会の弱体化に繋がる。踏ん張っているうちに対策を。

問 24 自治会中 2 自治会しか厚生年金に加入できない状況をどう思うか

答 社会保障はあった方がいい。自治会とやり取りしながら支援を含めて目指すべきところへ目指せるようにしていきたい。

問 社保は財源がないと入れない。村が負担できないか

答 今後の課題として受け止めている。

(提言) 自治会の活力、職員を保持していくために村のサポートが必須である。



読谷村内で子供達による
1次産業体験



たいら かつし
平良 勝志

読谷地域 6 次産業について

問 現状の取り組みと現在までの成果は

答 国の 6 次産業化認定を受けた(養豚農家)ヨギファームが黒豚の加工から販売まで取り組んでおります。また読谷型地域 6 次産業についても芋、ニンジン、メロン、イチゴ等を使用し地元の食品製造業と連携しお菓子類やアイス、飲料品等の商品開発がされております。

問 読谷は 6 次産業の適地になっているか

答 本村では地元で生産された農産物等を生産者が直接ファーマーズマーケットや鮮魚直販施設等に出荷が出来る仕組みがあり、直売施設をとおして学校給食への提供や食品製造業等と連携した取引ができ、地元の農産物等を使用した商品開発、販売を行うなど読谷型地域 6 次産業の適地となっております。

比謝川沿岸について

問 観光スポットとして活用の考えはないか

答 長田川が合流する比謝川河口はマングローブなど山原の自然を思わせる亜熱帯植物が生い茂りそこでは様々な生き物が観察できる場所として価値があり多くの方がカヤックやサップなどで豊かな自然を満喫しております。観光への活用につきましては、この魅力あふれる比謝川緑地を保全し調和を図り活用していきたいと考えています。

学校教育・スポーツ・地域スポーツについて

問 学校教育スポーツ指導での体罰の問題はないか

答 体罰の問題はありません。

問 パワハラやモラハラの問題はないか

答 パワハラやモラハラの問題はありません。

問 スポーツ地域移行についての進捗状況

答 今年度は教育委員会内で今後の取り組みの方法やタイムスケジュールを検討中です。



東日本大震災前から宮城県気仙沼市内中学校生徒、地域、自治会が一体となり実践的な訓練模様



きしもと だいじろう
岸本大二郎



避難所 33ヶ所への避難所運営委員会設置の進捗状況について

答 現在、避難所運営委員会の設置には至っておりません。今後必要と認識しており今後取り組むべき案件だと考えている。

問 避難運営委員会を開く事が出来ない現状と課題について

答 やるべきものだと認識はしている。現在自主防災会の設立に重きをおいている。なかなかその部分まで手が付けられない現状である。

問 新たに防災備蓄倉庫設置の計画について

答 古堅南小学校の校舎建て替えに際し、校舎内に防災備蓄倉庫の整備を予定している。

問 自助、共助について行政から村民への発信方法について伺う

答 情報の発信については非常に重要だと理解はしている。

問 読谷村 LINE アカウントを活用出来ないか。

答 担当部署と調整し検討していきたい。

学校防災について問う

問 現在実施している小中学校で防災訓練を行なっているが、今後大規模な自然災害を想定し実践的な防災教育を取り入れ、地域、自治会と一体となって取り組む環境づくりが必要だと思いますが村としての考えは

答 地域、学校、自治会が一体となって取り組むことは必要だと思っています。

不登校の対応について問う

問 新たに不登校対策事業として2校の中学校へ生徒指導支援員の配置が出来ないか

答 今後検討して行きたい。



農用地除外が待たれる、座喜味前田地域



やましろう せいき
山城 正輝



残波岬鯨ウォッチングと東屋等整備⇒検討!

答 鯨ウォッチングは貴重な観光資源。展望台やモニュメントは考えてない。電線地中化と道路整備は要望したことがある。トイレ付近に新たな案内版設置を検討。台風岩の説明板と「くいてい節の碑」の補修を検討。東屋設置は今後検討していく。

火葬場の活用拡大⇒家族葬難しい。飲食可!

答 年間 700 件余行っている。家族葬・遺体預かりは難しい。飲食とテレビ視聴は可能。

座喜味前田原農用地除外⇒説明会予定!

答 令和 7 年度に見直し予定。整備から 41 年経過。令和 6 年度にアンケート実施や説明会等を開催したい。

生活道路等の安全対策⇒検討する!

答 波平中央残波線西口からチビチリガマ駐車場への道路。看板設置は表記も含め検討。長浜チムどんどん土器・ナガハマメディケアセンター辺りの急カーブは舗装等検討。長浜運動場西からガマへの急勾配道路は、自治会と協力しながら現状を注視。

危険な道路沿い枯木の撤去⇒撤去で対応!

答 上地ファミマ北のハウオウ木は撤去。長浜北のモクマオウ 3 本は、地主と調整し対応。

大湾古堅のワンジャンクトウの進捗⇒検討!

答 個人の土地利用進んでいる。大湾自治会は、清掃活動予定。樹木伐採は、予算ができ次第努める。管理道路復元については、伐採除去後に検討。安全柵は次年度に発注予定。文化財活用等は、地権者等の意向を踏まえて進めるべき。

県道 16 号線「めがね橋」改修の進捗⇒引き続き協議。県道排水路は、実施設計へ!

答 所有管理者については資料を提供し、調整等を行っている。本体改修の目処はついていないが、排水路工事スケジュール等については引き続き、協議等に努めていく。





儀間ビーチ近くの浸透池

よな のりお
與那覇徳雄

瀬名波地区土地改良事業の非農用地の事業負担分を村はどの様に考えているか

答 補助金活用の整備メニューが無く今後の課題である。

問 非農用地の概算での工事費見込金額は

答 基本設計の段階で概算では16億円。

問 戦後処理事案で国に要請が必要だが

答 内閣府の方が跡地利用の課題の件で現地視察、軍用地跡地利用に関するアンケート要望。機会ある度に補助メニューを要請する。

問 高収益作物への転換については

答 農業者の意見も踏まえ県関係者と検討。

問 担い手農家や新規就農者の育成は

答 瀬名波土地改良区で13人の農業者を中心に経営体と位置付け、集積・集約化の考え。

公営墓地の候補地は

答 令和2年度読谷村公営墓地候補地選定調査業務で幾つか候補地は上がっている。

問 公営墓地は集中型と分散型があるが

答 集中型より分散型が現実的と考える。

問 設置に当たり検討委員会の開催は

答 候補地や形態等の決定で必要となる。

沈砂地や浸透池は雨水及び排水等の流末処理施設として機能整備されたが十分か

答 各流末処理施設の構造・規模等で決定。機能整備されたと認識、宅地化や集中豪雨等によって機能しきれてない場合もある。

文化センターギャラリーを村民・各サークル発表の場とし積極的に活用する考えは

答 サークル団体や地域活動に関する事例等、活動や展示に活用頂けるよう周知する。

残波岬の台風の高波で移動した大岩の説明版や通路の破損を復旧工事する考えは

答 説明板の位置変更も含め、復旧方法について施工業者と調整を行い検討する。

座喜味5班東川(トーガー)地区に横断歩道の設置の要請が出来ないか

答 当該箇所は横断防止柵設置、既設の横断歩道利用を促したい。



羽田空港周辺で運行している自立運行バス

とうま りょうじ
當間 良史

自立走行バスで観光交通網を

問 コロナ禍後の観光客戻りとレンタカーの減少による観光交通網拡充の為、リゾート地域に、近年全国でも運用されている自立走行バスを試行し、レンタカー以外の観光交通手段は

答 近年レンタカーの台数はコロナ禍前に比べ3割強の減少傾向にあり、公共交通の利用促進を目的とした、二次交通の在り方や利便性向上が必要と考える。

問 東京都羽田を始め多くの地域でグリーンスローモビリティが活用され第二の交通機関となっている。先ずは残波岬からむら咲むら間のリゾート地域に自立走行バスを走らせ将来的にはやちむんの里や座喜味城址など本村の観光施設を巡回路線を確立し、レンタカーに頼らず免許を取得していない客層へのアプローチをするべきと考えるが

答 導入運行にあたっては、本村の交通課題をしっかりと把握し西海岸を含めた運行場所及び需要や費用対効果等の検討が必要

下水道整備について

問 本村の下水道整備の状況と今後について

答 令和3年度末時点で公共下水道85.0%。流域関連下水道74.0%ですが本村の人口に対する下水道人口普及率は24.7%

問 流域公共下水道の管轄である県は、法律に定められた通りとして末端までの整備はしないとあるが、本村の住宅地域は流域の配管が埋まっている国道から内陸に大半が入り込んでおり人口比率として24.7%となっている状況では全域に普及するのは100年かかってでも実現不可能と考えるが

答 県において沖縄汚水再生ちゅら水プランの見直しをおこなっており今年度完成予定であり、県が市町村と連携して処理区域、整備手法、スケジュールの設定を行い効率的に進めていく予定である為、その指針に基づき横田地区をはじめ早期に問題解決が図れるよう調査していく。



神奈川県川崎市子どもの権利条例と
共に造られた子ども夢パークにて



よなはさき
與那覇沙姫

本村の子ども学ぶ権利の保障

問 本村の公立小中学校に通う子どもたちの義務教育費は一年間でいくらになるか

答 小学校の義務教育費については5億2,231万6千円。中学校の義務教育費は1億9,134万6千円となる。

問 本村の義務教育費は、小中学校別で、一人あたりどれくらいになるのか

答 小学校の義務教育費は、一人17万3千円。中学校は13万円となっている。

問 不登校児童への義務教育費の補償をする必要があると考えるが、学校以外の居場所づくりをできないか村長・教育長に伺う

村長 全ての子どもは差別なく公平に教育を受ける権利がある。個々に応じて、色んなケースで引き続き検討していきたい。

教育長 不登校の背景は多種多様。フリースクールに通う子もいて、文科省から学校出席扱いになるという通知がある。そういうことも含め、家族・子どもに寄り添いできる学習内容を確認し、家庭訪問し個別の教材学習やタブレットを使った家庭学習など学びの補償を、権利の保障をしていけたらと考える。

問 フリースクールに通う子どもへ義務教育費を保障することができないか。また、子どもがありのままで居られる居場所づくりや、大人が子どもの権利についてアップデートが必要。子どもと共に読谷村で子どもの権利条例を検討できないか

村長 子どもの権利条約の生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利があり、深く広い。多くの議論を重ねたい。

教育長 村長部局と一緒に子どもたちの学ぶ権利の保障も含めて、子どもにとって何が大事なのか。素晴らしい権利条例ができるように今後とも相談をしたい。

※他、本村の乳幼児教育の質、本村の小中学校の教員の働き方、保育所・幼稚園・こども園について、ふるさと納税活用法についてを質問しました。



令和5年度から更に拡充する
産後ケア事業



しろま まゆみ
城間 真弓

村民のいのちをつなぎ暮らしを支える行政の役割と責任について

問 村が2008年～14年の間、村内の認可保育園に通う村民税非課税の一部世帯から、国基準より多い保育料を徴収していた問題について、7年間で国基準より多く徴収された金額は。また新聞報道では「当時の関係者などの聞き取りなどを含め、きちんと調査し対応をしたい」との事だが、実際どのような調査をしたのか

答 7年間で国基準額と本村の保育料の差は、2,475万5千円。文書は保存年数が超えていたため破棄され内容を確認できなかった。また、当時の職員、退職者を含め聞き取り調査を行ったが15年も前のことのため記憶に残っていないとこのことで詳細を確認するまでに至らなかった。

問 村民の暮らしを支える行政の役割と責任についてどのように考えているか。また、近年のミスが続くような行政運営について、職員の過重労働や業務内容、管理体制に問題がないか

答 村民の生命、財産、福祉の向上に資する役割と責任があると認識している。また、職員の過重労働、業務内容及び管理体制については、組織をもって対応し、今回事務ミスが起こったことについても再発防止に取り組んでいく。

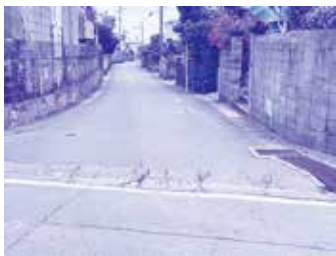
2022年の小中高生の自殺者数が過去最多の500人を超えた。子どもたちがこの社会の中で生きることには希望が持てるよう、子どもの権利を守っていく本気の取り組みが必要である。子どもの権利条例の制定を。

村長 色んな内容に渡っているので検討したい。

安心し産み育てられる産後ケアの今後の施策は

答 令和5年度から訪問型ケアの継続と、デイサービスケアと宿泊型ケアに支援策を拡大する。





標示が消えかけた村道

かみや
かえい
神谷 嘉栄

令和5年度 施政方針より

問 新たに実施の歯周疾患健診について伺う

答 歯周病は心臓病や糖尿病などを引き起こす恐れがあり、健診の実施は別疾患の発症予防が期待され40歳・50歳・60歳・70歳を対象に医療機関での個別健診となる。

問 読谷型地域包括ケアシステムの構築とは

答 読谷村診療所をはじめ、村内医療機関による在宅診療の充実が図られてきた。引き続き誰もが住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、切れ目のない支援に取り組む。

問 農商工連携による地産地消推進の取り組みで「商」と「工」の関わりの説明を求める

答 「工」は農水産物の加工を担い、「商」は流通販路の確保や拡大を担うことで、例として読谷産苺をアイスクリームへ加工し、スーパーなどで販売。また、1個につき本村のこども未来基金へ1円ずつが当てられる。

交通安全の対策と要望

問 村道瀬名波線と交差する村道渡慶次～瀬名波線の標示がほぼ消えた状態。また、村道瀬名波3号線へ減速喚起の策を講じられないか

答 村道渡慶次～瀬名波線は一時停止標示が消えており、嘉手納警察署を通し沖縄県公安委員会へ要請を行う。村道瀬名波3号線は看板等による注意喚起ができないか嘉手納警察署及び関係課と調整したいと考えている。

学校給食の現状と公会計化

問 物価高騰による給食調理場の影響を伺う

答 栄養士が食材発注の際、工夫などの取り組みにより、給食会計に赤字は生じてない。

問 徴収金管理面で公会計化への考えを伺う

答 システムの導入や情報管理、人員体制など調整に時間や費用がかかり現時点では考えてない。



学校のトイレにウォシュレットを

やまうち
まさのり
山内 政徳

各学校のトイレ整備の考え方は

問 ウォシュレットは当たり前として蛇口は自動水栓、照明は自動点灯式にしては

答 トイレはすべて洋式としウォシュレットは多目的トイレ及び職員トイレに設置。手洗いは自動水栓、照明は自動点灯式を検討

問 今度整備する泊城公園はインクルーシブの考え方は入っているか

答 インクルーシブに対応したい

新図書館には子ども図書館的な視点は十分に配慮されているか

答 子どもスペースは3倍で幅広く利用できるスペースを設けるほか、野外にある広場やじゃぶじゃぶ池に隣接し外遊びと内遊びが連携出来る配置とし、親子が飲食談話等長時間利用できる施設です

ふるさと納税について、村長にトップセールスマンとして大変期待をする

問 提案として本村でキャンプを行なっている中日やサガン鳥栖とコラボし、ふるさと納税アップに繋げないか

答 キャンプチームの本拠地で行われる公式戦にて観光誘客PRにより、認知度向上や特産品の紹介、観光情報のほか、ふるさと納税のパンフレットを配布し寄付につながる取り組みを行っていく

糸満市で活用している支援策母子手帳アプリ、母子モを導入しては

答 令和5年度より子どもの成長や記録をスマートフォン等で確認できるデジタル子ども(テクテク)を導入予定

女性にやさしいまちづくりの為、公共施設に生理用品設置を考えては

答 備え付けを検討します。村体育センター村立図書館、文化センター図書館は受付にて生理用品を準備していることを女子トイレに掲示、今後図書館と文化センターは社協と連携してルナカード設置の対応を検討、体育センターは隣接する社協に設置されている旨の案内を掲示していく予定。



読谷中学校前、交差点
安全対策を早急に!



うえちりえこ
上地利枝子



生理用品の無料配布の状況

問 本村小中学校女子トイレへの配置状況と具体的な予算内容と環境整備の取組は

答 令和5年度、各学校の医薬材料費とは別に予算措置をし、各トイレに設置している生理用品は保健委員等が定期的に補充、気づいた児童生徒によっても補充している。

読谷中学校西側交差点の安全対策

問 交差点西側の突き当たりカーブミラーの設置ができないか

答 当該交差点は、歩車分離の道路で道幅も広く、見通しもよい交差点であり現在のところカーブミラーの設置の考えはない

問 ドライバーへの注意喚起の為、車道にクイックシートで「止まれ」「歩行者注意」の標示はできないか

答 嘉手納警察署を通し沖縄県公安委員会へ要望したいと考えている

重層的支援体制整備事業の取り組み状況は

問 属性・世代を問わない相談・地域づくりの実施体制について本村の取り組みは

答 高齢者分野の相談については、福祉課地域包括支援センター相談窓口で様々な生活課題、認知症、権利擁護に関する相談を行っている。障害者分野の相談事業は福祉課障がい福祉係の他3事業所に生活課題、受診や通院、就労等相談事業を委託。子ども分野の相談は、こども未来課において育児相談の他、家庭児童相談、児童に関する相談の他、健康推進課において子どもの発達発育相談支援等、生活困窮者分野では、社協、沖縄労福協に業務委託、共助の基盤づくり、自立支援、家計改善等の相談支援を行っている。地域づくりについては、社協と連携して、見守り訪問活動、ボランティア育成、地域支え合い委員会の充実と強化等の地域づくりを進めている。アウトリーチは訪問活動が基本対象者に考慮しながら継続的に相談支援を行う。



ドローン危機は産業危機か?



まつだ まさくに
松田 昌邦



総務省は経営者や働き手の学び直し(リスキリング) 事業を実施する自治体に財政支援を開始する

問 地方におけるデジタル化や脱炭素の担い手育成が課題だが本村の現状は

答 県で実施する事業が対象である。本村としても今後、両分野における担い手は必要

問 また、地元大学と協定を結び、学び直し講座の経費に対しての財政支援もある事から実現に向けて検討すべきと考えるが

答 大学側からの企画提案や相談が必要と考える

2026年民間企業の障害者雇用率 2.7%に引き上げ、国や地方自治体、独立行政法人 3%、教育委員会 2.9%となる。

問 障害者介助等助成金の活用と周知を図り、積極的な障害者雇用につながるようすべきと考えるが村の見解は

答 雇用継続に向けての一部助成金で、本村においては就労コーディネーターによる周知に努め雇用につながるよう取り組んでいく。

問 仮称「読谷村総合情報センター」の運営に障害者雇用の可能性は

答 雇用について検討する

1月より小型無人機等飛行禁止法(ドローン)による「対象施設」が4施設追加されたが

問 トリイ通信施設が追加されたが関連対象区域は他にもあるか

答 嘉手納飛行場及び嘉手納弾薬庫がある。瀬名波のトリイ関連鉄塔周辺も対象

問 国より村へ指定理由と内容説明はあったか

答 説明を受けている

問 住民生活と産業振興への影響は如何に

答 基本飛行許可・承認手続が必要となり、商用利用の動きもあり今後規制等について注視していく。



陳情・意見書・決議に対する討論(ダイジェスト版)

第524回定例会(令和5年3月24日)

賛否あり

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	與那覇徳雄	仲眞朝雄	與那覇沙姫	城間真弓	山内政徳	上地利枝子	平良勝志	國吉雅和	岸本大二郎	神谷嘉栄	江田守恭	比嘉幸雄	當間良史	松田昌邦	山城正輝	伊佐眞武	大城友誼	長濱宗則	伊波篤
令和4年陳情第1号	可決		×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	退	○	※

※議長は採決に参加しない

令和4年陳情第1号

賛成多数で可決!

(波平ビーチ沿の環境保全地域にグランピング宿泊施設の実現に関する陳情書)



反対 城間真弓

私たち読谷村において、環境保全地域というのはすごく貴重な海である。現在もすでに多くの観光施設が海岸沿いに並んでおり、そのたくさんの施設を利用してもらい、守るべき海を守っていく姿勢は本当に大事である。また、SDGsの観点からも、ありのままの自然をどう守り抜き、環境をどう守っていくかは大きな課題である。よって、陳情第1号について反対致します。



賛成 上地利枝子

事業計画案は3つのテーマ「環境保全」「憩いの場」「地域の魅力」を盛り込んで「地域と地続きの世界観」を大切にしたりゾート施設を目指した計画です。建設場所は土地改良に取り残された場所で、これまでコンクリートパルプや洗濯機、家電やアルミサッシ、鉄屑、生活ゴミなど不法投棄の場所になっていた。その場所は、火葬場跡地が近くにありマイナスイメージの地域で、そこが整備される事によって村の歴史的文化遺産にする可能性も出てくると思います。



反対 國吉雅和

8回の委員会審査を経て委員会では採択されました。しかし、委員会報告書によると農業振興地域で農地を防風から守る防風林帯区域であり、環境保全地域である。また、不採択となった前回陳情と今回の内容に変化はないとの行政当局の認識であり、大当原貝塚は大変貴重な遺跡の委員会報告である。従って、採決に置いては、法令上、行政財産上、実現可能である場合に賛同するものであり、現時点では宿泊施設の実現は厳しいです。

議案に対する討論 (ダイジェスト版)

第524回定例会(令和5年3月7日)

賛成多数で可決

- 議案第14号(読谷村個人情報の保護に関する法律施行条例)
- 議案第15号(読谷村情報公開・個人情報保護審査会条例)
- 議案第16号(読谷村情報公開条例の一部を公開する条例)
- 発議第1号(読谷村議会の個人情報の保護に関する条例)

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	與那覇徳雄	仲眞朝雄	與那覇沙姫	城間真弓	山内政徳	上地利枝子	平良勝志	國吉雅和	岸本大二郎	神谷嘉栄	江田守恭	比嘉幸雄	當間良史	松田昌邦	山城正輝	伊佐眞武	大城友誼	長濱宗則	伊波篤
議案第14号 (読谷村個人情報の保護に関する法律施行条例)	可決		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	※
議案第15号 (読谷村情報公開・個人情報保護審査会条例)	可決		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	※
議案第16号 (読谷村情報公開条例の一部を公開する条例)	可決		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	※
発議第1号 (読谷村議会の個人情報の保護に関する条例)	可決		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※

※議長は採決に参加しない

賛否あり



反対 城間真弓（議案第14号 議案第16号）

①議案第14号 これまで、読谷村個人情報保護条例では、第1条に個人の尊厳の維持と、村民の生活の安定を図り、村民の基本的人権を擁護することを目的として規制がおこなわれてきた。しかし、今回の法改定は個人情報の有効性に配慮しつつ、「利活用」へと考え方を180度転換し、個人の尊厳や、基本的人権の擁護よりも、情報を一元化させることによる国による利便性を求められた条例となっています。また、衆議院・参議院の両方で多岐にわたる附帯決議がされており反対とします。

②議案第16号 この条例は、議案14号の討論で述べましたように、国のデジタル改革関連法により、個人情報保護法が改正されたことに伴い、読谷村情報公開条例の一部を改正するものとなっているため、改正後の安全性が担保されない。よって、議案16号、読谷村情報公開条例の一部を改正する条例について反対致します。



賛成 國吉雅和（議案第14号）

デジタル社会に向けて、個人情報保護規程の改正を国の基準に揃える母法の改正によるものである。その結果、従来の読谷村個人情報保護条例は廃止される。ただし、新たな個人情報保護条例は従来の保護条例と同等の内容であり、懸念されるものではない。また、従来は議会と行政は同一の運用であったが、二元代表制に基づき議会独自の個人情報保護条例の制定も必要である。



反対 與那覇沙姫（議案第15号 発議第1号）

①議案第15号 政治の決断をする行政や議員は便利な社会と引き換えに、様々な課題を予測もしながら、村民の暮らしを守るというのが地方自治の意義であるということをお忘れずに、国の動向を見ていくことが必要です。そこで是非とも現行にある読谷村個人情報保護条例の第一条を残して、「読谷村個人情報の保護に関する法律施行条例」を定めていただきたいという、願いをしながら反対とします。

②発議第1号 15号の討論で述べましたように、国のデジタル改革関連法により、個人情報保護法が改正されたことに伴い、読谷村情報公開条例の一部を改正するものとなっているため、改正後の安全性が懸念されるため、議案第1号、読谷村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について反対いたします。



賛成 仲真朝雄（議案第15号）

本議案は改正個人情報保護法の趣旨を、遺漏なく執行するための舞台装置としての個人情報保護審査会を設置するための条例制定である。高度情報通信社会の到来による個人データの越境移転などのリスク管理を図るものであり、本条例の設置に賛成するものである。



賛成 當間良史（議案第16号 発議第1号）

①議案第16号 2005年に個人情報保護法が施行以来、この条例もバージョンアップを重ねて来ており、今回も時代に沿った条例の改正であることから賛成します

②発議第1号 本議案は、地方公共団体の執行機関においては今回の法律施行による新たな個人情報保護法の適用外となっている為であり議会における個人情報の適応は、法形式や規律の内容も含めその自律的な対応に委ねることから、個人情報保護法の改正規定の施行のため議会における個人情報保護に関する条例の制定等を議会として適切な対応を図る必要があり賛成とする

決議第1号及び意見書第1号

賛成多数で可決!

(CH53E大型輸送ヘリの物資吊り下げ飛行訓練に対する抗議決議・意見書)

**反対** 比嘉幸雄

新聞の報道写真は、渡具知ビーチとトリイ基地の界の岩場、付近は立入禁止エリア北谷町宮城海岸付近からの超望遠撮影である。訓練当日の潮の干満は中潮なので写真のように潮は引かない。3Kmの望遠撮影で飛んでくるヘリを撮影し、距離感覚から民間人の上をヘリが飛んだとは到底考えられない。米軍の説明通り、「日米合意に従い人口密集地では飛行してない」との主張が合理的! 事実を確認して新聞報道にだけ頼る、意見書・抗議決議はやめるべき。

**賛成** 城間真弓

私達議会において軍事訓練に対して色々な考えはありますが、村民を巻き込むような大きな事件や事故が起り、誰かの命が奪われてからひとつになって立ち上がるのでしょうか。読谷村の過去の歴史を振り返っても分かるように、軍事訓練において絶対安全と言うことはない。いま、この常態化している状況から、村民の皆さんの生命、財産、平和な暮らしを、私達読谷村議会としても「何としても守るんだ」という強い姿勢を見せていくことが、我々議会に求められていることだと思う。

**反対** 岸本大二郎

意見書の内容の中から新聞報道からの情報だけで取り上げられている。3月9日0時50分につり下げた状態で都屋漁港の沖合方面から飛来した当時海岸には民間人とみられる人が複数おりヘリはその上空を通過に対して基地特別調査委員会は事実を調査・研究するべきである。吊り下げ訓練がどう墜落の不安と恐怖を煽り生活環境を破壊しているかを報道に右左されず調査・研究し説明するべきである。意見書では事実が確認出来ない事から反対討論とします。

意見書第2号

賛成少数で否決!

(充実したインクルーシブ教育のために特別支援ヘルパーの人材確保と処遇改善を求める決議)

**反対** 國吉雅和

陳情者の村民要望は、処遇改善と雇用保険対象者にすることである。しかし、新年度予算で雇用保険と支援員事業の報酬増額判明後の決議書提出である。また、「読谷村のすべての子どもが、地域の学校で学ぶ学習権を守り」は、学習権が守られていないと受け取れる。なお、決議書の表題は「充実したインクルーシブ教育」である。ところが、読谷村は「インクルーシブ教育システム」の推進である。以上、3点の違いで反対します。

**賛成** 與那覇沙姫

一人の子どもを育てるには一つの村がいるというアフリカのことわざがありこのシンプルなことがどれだけ大きな意味を持つのが、意見書第2号の本質だと私は思っています。意見書を筆頭に支援ヘルパー社会的な地位が向上しインクルージョン教育の概念が深まり誰も取り残さない社会の実現がさらに開かれえたものとなり障がいを持つ子どもの育ちを支える様々な職業のあり方を見直していくことに繋がると期待し賛成討論を終わります。

**賛成** 上地利枝子

日本は少子高齢化人口減少社会で、1年間に生まれてくる子どもの数も年々減少し、少子化の現状にやっと国も異次元的子育て支援を政策として打ち出しました。インクルーシブ教育を推進していく為、特別支援ヘルパーの人材確保と処遇改善については継続的に取り組むよう要望し賛成します。

意見書第1号

(ゲノム編集トマトの種苗を福祉施設や保育園、幼稚園、小中高等学校で拒否し
学校給食でゲノム編集された食材の不使用を求める決議)

賛成多数で可決!



反対 比嘉幸雄

ゲノム編集は遺伝子を壊して本来の性質を変える技術ではなく、ゲノム DNA 上の塩基配列を切断する技術である。「オフターゲット」についても日本では問題視されていない。2020 年には開発者がノーベル化学賞を受賞しており、世界的に認められた技術である。ゲノム編集は各分野での活用が期待され、品種改良や様々な疾患への研究も進んでいて、スウェーデン王位科学アカデミーは「生命科学に革命的影響を与えた」と評価している。以上の事から反対討論とします。



賛成 城間真弓

食べものとして本当に安全なのか、環境に悪影響を与えないのかを全く調査されないまま、ゲノム編集の種苗が広まってしまうのは本当に危険であり、EU ではゲノム編集は従来の遺伝子組み換えと同等のリスクの可能性があるとして、規制の必要性が議論されている。また、英国では国が規制を撤廃しても市民の強い反対により流通は進んでいないのが現状である。議員として、そして、一人の母親としても村民に対して安全が担保されていない種苗を受け取ることは断じて容認できない。



反対 仲真朝雄

ゲノム編集トマトを開発・販売する会社の、一般への苗の無償提供の募集は終了したようだが、学校などの教育施設等への無償配布計画は確認できない。よって記の1の根拠が極めて希薄であることから、本案には反対である。



賛成 上地利枝子

ゲノム編集された作物、食品、家畜に与える影響や、健康への影響は未知数です。私たち主婦は常に家族の健康に気をつけて、無農薬野菜や有機野菜など食材選びをしています。安全性が確認されていない食品を子ども達に食べさせることは、許されません。本案に賛成討論します。

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	與那覇徳雄	仲真朝雄	與那覇沙姫	城間真弓	山内政徳	上地利枝子	平良勝志	國吉雅和	岸本大二郎	神谷嘉栄	江田守恭	比嘉幸雄	當間良史	松田昌邦	山城正輝	伊佐真武	大城友誼	長濱宗則	伊波篤
決議第1号及び意見書第1号	可決		○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	※
意見書第1号 (ゲノム編集トマト…を求める決議)	可決		○	×	○	○	×	○	○	○	×	退	○	×	×	×	○	○	○	×	※
意見書第2号 (インクルーシブ教育…を求める決議)	否決		○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	※

※議長は採決に参加しない

カフェからはーい のコンセプト

カフェ×就労訓練(障害者、求職者等)×農業×地域貢献活動



↑ 村民によるハンドメイド商品



↑ 村内事業者によるお弁当やお惣菜たち



↑ 農家直送の野菜たち

「カフェからはーい」は、うちなーからはーい(一社)が運営する読谷からはーいの事業のひとつ。障害のある方の就労訓練実践の場として、毎日4～7名の方が働いており、体力や就労意欲の向上を目指しています。おかげさまでオープンから2年が経ち、少しずつ村民の方に認知されるようになってきました。障害のある方の収入向上や就職を見据えた就労訓練の場としての役割を果たしています。

「カフェからはーい」では、役場内という公共の場にあることから自前の商品だけでなく、村内の飲食業者や高齢者団体、あたいぐわあ農家、福祉事業所などの商品を幅広く販売するよう意識しています。売り上げが村内の事業所、団体に還元する仕組みとなっています。

また、障害者の就労系事業では、売上の向上を図る必要があります。販路先の確保はとて重要になっています。からはーいのみならず、他の就労系事業所の売り上げに繋がるよう「カフェからはーい」がその役割の一助を担っています。

店内でひと際目を引くのは、同法人が運営する読谷村地域活動支援センターの利用者とスタッフが描いた大きな鯉のぼりの作品。地域活動支援センターとは、障害のある方の地域生活を支える事業。地域の居場所として、日常生活の困りごとの相談や対人関係支援、余暇支援、創作・芸術活動などを行っており、障害のある方の安心・安全な居場所としての役割を担っています。そこで行われている創作・芸術活動、社会参加の一環として、「カフェからはーい」の店内ディスプレイを担当しています。これまで、秋には紅葉の作品、12月にはクリスマスの飾りつけ、年始にはお正月と季節に応じて展示しています。現在は鯉のぼりが楽しそうに滝登りをしています。

「カフェからはーい」では、村内飲食業者の弁当やスイーツ、新鮮な農作物、手工芸品など様々な商品を販売しています。役場に来る機会があれば、ぜひ「カフェからはーい」にお立ち寄りください。明るく元気なスタッフがお待ちしております。



▲ Youtube
動画配信中!

りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ66名でした。

令和5年6月定例議会は6月13日(火)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225